

レパルアウツゴース

新規開校!! 9月から

木曜日

☆ 9:30 ~ 11:00

☆ 11:15 ~ 12:45

7月からのNEWフェイス

加嶋寿人 (かしまこと) フロント
担当致します。



「108のスイングドリル」

みなさんは、こういう経験した事はありませんか?
悪いところを意識しているのに動画で見たら全く変わってないなあ... ということ。108のスイングドリルの中から、あなたにぴったりの処方箋を提供し、**スイング美人**に致します!

無料体験も随時受付中です!

(お一人様1回限り) 詳細はフロント、又はお電話(049-289-8881)までお願いします。



- メニュー
- イチゴ・レモン
 - メロン・抹茶
- 各110円
〈練乳+100円〉



まだまだ暑さは続きそうです。
練習中の熱中症対策や練習のクールダウンにいかがですか?!

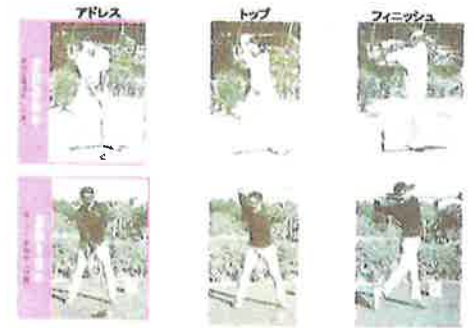


癒流里けんこう通信

☆ 重心や体重移動の話 ☆

ほとんどのゴルファーがゴルフスイングは「体重移動をしている、あるいはしていない」と思っているのではないのでしょうか? それは基本的です。「体重移動しているように感じる」はあっても、実態としてしているわけではありません。ここで速くんのスイング比較をしてみましょう。

写真は速くんの賞金王になった年とその後のアメリカツアー参戦の年の比較です。例えばアドレスでの比較です。



アドレスが斜めで分かり辛い部分もありますが、賞金王になった年は左サイドに左脚の外側と上半身の左外側、右脚の内側と上半身の右外側が重なってアドレスをしているのに、それ以降のアドレスでは、左脚の内側と上半身の左外側、右脚の外側と上半身の右外側を重ねています。

この形のアドレスからスイングを開始するとインパクト後に下半身を上半身に追い抜いていかないとならず、その追い抜く時に自身の下半身が上半身の動きを邪魔してスムーズなインパクトができなくなります。その時にフェースの向きがズレて、ボールが右の方に曲がってしまうのです。その動きの証が最後のフィニッシュです。賞金王の年はしっかりと左脚に軸を置き、直ぐの立ち姿勢ですが、その後ろの年には右脚に体重が少し残り、斜めの姿勢となります。この現象がいわゆる「明治の大砲」と言われるあのフォームなのです。海外の選手が殆どがこの速くんの賞金王時代のアドレスです。だから、フィニッシュ時に左足がぐらぐらすることがなく、足裏全体がしっかりと地面にくっついてるのです。

トラディショナル スポーツ

ガデログリップ交換キャンペーン

9月1日(火) ~ 9月30日(水)

グリップ交換工賃
440円が無料!!

2,640円 → 2,200円

ガデログリップはエアで装着し、交換後すぐに打つことが出来ます。装着後の溶剤を乾かす時間不要です。また従来の下巻き用も併せてご利用いただけます。

ぜひ、この機会にグリップ交換してみてくださいいかがでしょうか? 詳しくはトラディショナルスポーツ須長店長へ

